

# 事務事業調査

平成26年度

事業No	127	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名		町内会組織活性化事業			事業種別	市民サービス	

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 1 町内会組織の活性化			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	各町内会が		~になる	コミュニティを運営する能力を向上させることができる。	
事務事業の内容	町内会を地域活動の基本組織と位置づけ、行政の重要なパートナーという認識のもと住民の地域への関心を深め、住民相互の連帯感を醸成するため町内会への加入を促進します。町内会長連絡協議会の活性化を図り、町内会相互及び行政との情報交換や連絡調整機能の充実を目指します。					
改善・対策の履歴	パソコン研修で、「町内会からの情報発信」として、ツイッターの使い方、フェイスブックの紹介、ブログを使った情報発信方法の講座を行いました。					

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,891	5,555	6,065	4,709	4,972
財源計	1,796	1,460	1,970	1,559	1,822
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	1,796	1,460	1,970	1,559
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,095 (0.65)	4,095 (0.65)	4,095 (0.65)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	町内会長連絡協議会の税務研修等の研修の開催	見込	2.00	2.00	3.00	3.00
			実績	2.00	4.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,244	2,301	1,539	
			活動にかかるコスト (千円)	1,122.00	575.25	513.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内会長連絡協議会総会・理事会の開催	見込	7.00	7.00	7.00	7.00
			実績	7.00	7.00	7.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,467	2,485	2,291	
			活動にかかるコスト (千円)	352.43	355.00	327.29	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	町内会加入率(%)			目標	79.00	79.00	79.00	80.00
				実績	73.90	73.50	73.80	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	80.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

### 5 成果1、2以外の成果

成果	町内会相互及び行政との情報交換が図られました。
----	-------------------------

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	町内会事務に係る税務研修を受講した町内会が増えたことで、受講者が減ってきたため講師派遣コストを削減しました。
成果	町内会加入率がH24年度73.5%、H25年度73.8%に向上したのは、各町内会における地道な町内会加入へのPRが一因と考えます。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
町内会加入率の向上策について、引き続き町内会長との協議の場を設け、PR方法等の施策を検討します。	

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	町内会組織は行政の重要なパートナーという認識のもと、住民相互の連帯感を醸成するため町内会への加入を促進するとともに、町内会相互及び行政との情報交換や連絡調整機能の充実を目指し、行政とのパートナーシップの向上につなげていきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	129	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名		町内会活動支援事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 2 活動助成の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内会が		~になる	コミュニティ活動の活性化を図れるようになる。	
事務事業の内容	住民主体の特色ある地域づくりの実現をめざし、環境美化、自主防災、地域福祉活動などに対する助成をし、魅力ある活動を支援します。					
改善・対策の履歴	年々増加する町内人口に対し、予算の範囲内において、人口増加した地域に活動補助金を増額し支援しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	104,896	104,089	108,575	104,334	113,832
財源計	103,321	102,514	107,000	103,452	112,950
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	103,321	102,514	107,000	103,452
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	882 (0.14)	882 (0.14)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	町内会活動事業補助金	見込	79.00	79.00	79.00	79.00
			実績	79.00	79.00	79.00	
	指標名 (単位)	町内会(団体)	活動の総事業費 (千円)	102,107	102,567	102,346	
			活動にかかるコスト (千円)	1,292.49	1,298.32	1,295.52	
活動2	活動名 (活動内容)	掲示板・AED設置補助金	見込	40.00	40.00	39.00	42.00
			実績	31.00	19.00	27.00	
	指標名 (単位)	設置箇所(箇所)	活動の総事業費 (千円)	2,789	1,522	1,988	
			活動にかかるコスト (千円)	89.97	80.11	73.63	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	活動支援率(支援を受けた町内会/全町内会)(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

### 5 成果1、2以外の成果

成果	町内会活動の財政的支援を行うことにより、町内会組織の運営に資することができました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動補助金が横ばいで推移する中で、人口の増加により、町内世帯が増えている状況において、増加する地域福祉や防災・防犯対策、青少年健全育成などの町内会活動にかかる経費を町内会の努力により賄われています。
成果	地域福祉や防災・防犯対策、青少年健全育成などの町内会活動への支援を行うことができました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
地域住民の安全・安心の向上に資する目的で、平成22年度からAED設置補助事業を開始しましたが、25年度末時点で設置が15町内会(1連合町内会を含む)に留まっているため、設置の促進を図ります。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	引き続き、住民主体の地域づくりへの活動に対する支援を実施していきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	134	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名	リーダー育成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 1 コミュニティ活動 2 コミュニティリーダーの育成			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内公民館長・主事が			~になる	地域活動の企画・運営能力を向上させることができる。
事務事業の内容	地域の町内公民館活動の参考になるような研修会を企画し、リーダーの育成を図ります。					
改善・対策の履歴	案内を公民館長と公民館主事宛に別々に送付し参加を促すとともに、案内文に他の方への参加依頼を記載し参加を促しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,046	1,033	1,092	1,125	1,139
財源計	38	25	84	54	68
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	38	25	84	54
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,008 (0.16)	1,008 (0.16)	1,008 (0.16)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	館長主事研修会の開催	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	542	529	621	
			活動にかかるコスト (千円)	271.00	264.50	310.50	
活動2	活動名 (活動内容)	郊外研修会の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(件)	活動の総事業費 (千円)	504	504	504	
			活動にかかるコスト (千円)	504.00	504.00	504.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
成果1	指標名(単位)		目標	200.00	200.00	200.00	200.00
	館長主事研修会へ参加する延べ人数(人)		実績	198.00	196.00	203.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	未達成	未達成	達成	
成果2	指標名(単位)		目標	63.00	63.00	63.00	63.00
	郊外研修会に参加するリーダー数(人)		実績	69.00	67.00	56.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	未達成	

### 5 成果1、2以外の成果

成果	研修会を受講することで、各公民館長及び主事の公民館事業運営の参考となりました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	会場を市の会議室を利用し、コストの削減を図りました。 研修会講師により講師料増減します。
成果	郊外研修会では、1人以上の参加を依頼しているところですが、行事が重なり小規模公民館では、代わりの方も参加できない状況がありました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
郊外研修会の日程調整の際、特に行政に関係する仕事が入ることがないように、早めに日程を決め、町内会長予定表に入力していきます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	毎年、研修会が有意義なテーマで実施できるよう、最適なテーマの調査に努めます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	128	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名					事業種別	市民サービス	
町内公民館組織活性化事業							

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 1 町内会組織の活性化			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内公民館で活動する団体が			~になる	活発に活動できるようになる
事務事業の内容	町内公民館芸能活動発表会及び公民館連絡協議会の活動に対し、補助金を交付します。					
改善・対策の履歴	発表会の効率化を図るため、琴演奏はセッティングに時間を要するため、琴と大正琴の団体をグループ化し、前半と後半に分けて発表する方法にしました。 ごみ減量と経費削減のため、チラシの作成枚数を各町内公民館にヒアリングしてから作成しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,488	3,489	3,538	3,310	3,349
財源計	464	465	514	475	514
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	464	465	514	475
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,024 (0.48)	3,024 (0.48)	3,024 (0.48)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	町内公民館芸能活動発表会の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,018	3,018	2,955	
			活動にかかるコスト (千円)	3,018.00	3,018.00	2,955.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内公民館連絡協議会総会・理事会の開催	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	5.00	5.00	6.00	
	指標名 (単位)	理事会開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	470	471	355	
			活動にかかるコスト (千円)	94.00	94.20	59.17	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	町内公民館芸能活動発表会に出演する団体数(団体)		目標	40.00	40.00	40.00	39.00
			実績	39.00	37.00	36.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

### 5 成果1、2以外の成果

成果	文化センターマツパホールのような大きな舞台で発表する機会を得ることで、日常の生涯学習活動に対する目標となり、町内公民館活動の推進を図ることができました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	理事会に諮る協議事項がある場合に、前年の理事会開催数にこだわらず理事会を開催し柔軟に対応しました結果、開催日数が増えましたが、単位コストは減少しました。	
成果	発表会の順序が抽選であり、融通性がないことや琴と大正琴をグループ化して一方のグループを発表会の1番目からの順にしたことからキャンセルがでて、出演団体数が減少してしまいました。	

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
発表会参加団体数の減少の要因が何かを分析し、運営の仕方について検討すべき部分がないか精査します。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	町内公民館連絡協議会が、各町内公民館相互及び行政との情報交換や連絡調整機能を持った組織として、町内住民のための活動を推進できるよう引き続き支援していきます。

# 事務事業調査

平成26年度

事業No	130	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名					町内公民館活動支援事業	事業種別	市民サービス

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 2 活動助成の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内公民館活動が		~になる	活発に行われるようになる。	
事務事業の内容	地域における生涯学習活動の充実を図るため、各町内公民館活動に対し補助金を交付し、町内公民館活動を支援します。					
改善・対策の履歴	モデル地区として実施できる事業が、講師に対する報酬に限定されていたので他の必要経費でも対象とできるように改正しました。					

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	14,579	14,980	15,410	15,637	16,687
財源計	13,067	13,468	13,898	13,495	14,545
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	13,067	13,468	13,898	13,495
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,512 (0.24)	1,512 (0.24)	1,512 (0.24)	2,142 (0.34)	2,142 (0.34)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	町内公民館活動推進モデル地区の事例発表	見込	4.00	4.00	3.00	3.00
			実績	3.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	事例発表町内公民館数(町内公民館)	活動の総事業費(千円)	843	843	843	
			活動にかかるコスト(千円)	281.00	281.00	281.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内公民館活動事業補助金	見込	78.00	79.00	79.00	79.00
			実績	79.00	79.00	79.00	
	指標名 (単位)	交付町内公民館数(町内公民館)	活動の総事業費(千円)	13,736	14,137	14,794	
			活動にかかるコスト(千円)	173.87	178.95	187.27	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	モデル地区の実施事業件数(件)			目標	25.00	25.00	25.00	25.00
				実績	21.00	12.00	16.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

### 5 成果1、2以外の成果

成果	モデル地区による事例発表が他の公民館事業への取組みの参考になりました。
----	-------------------------------------

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動事業補助金は各町内公民館の世帯数によって補助をしています。本市は世帯数が年々増加しているため、補助金は増加しています。
成果	各町内公民館における地域に密着したイベントの実施に資することができました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き、モデル地区事業を実施した公民館は、その事業について他公民館へ事例発表することとします。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	町内会公民館は地域における生涯学習活動の場を提供するとともに、地域のコミュニティの拠点です。引き続き、この公民館活動に支援していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	133	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名		コミュニティ意識啓発事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 1 コミュニティ活動 1 コミュニティ意識の啓発			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和55年度	経過	34年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	コミュニティ活動に参加する。	
事務事業の内容	コミュニティ活動は、そこに暮らす地域住民が、その地域を快適で住みよいものにしていこうとする協働のことです。積極的・自主的な住民自治への意識を育むため、町内公民館を建設した場合や人口増加が著しい地域に対し、コミュニティ活動に必要な設備・備品の整備を支援します。					
改善・対策の履歴	設備・備品の整備後、広報あじょうに本事業により整備したことを掲載し、PRしています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	3,508	3,245	3,445	3,282	3,382	
財源計	2,500	2,300	2,500	2,400	2,500	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他( )	2,500	2,300	2,500	2,400	2,500
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	2,500	
職員人件費 (従事職員数)	1,008 (0.16)	945 (0.15)	945 (0.15)	882 (0.14)	882 (0.14)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	コミュニティ助成事業補助金	見込	2.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	交付団体数(団体)	活動の総事業費(千円)	3,130	2,930	3,030	
			活動にかかるコスト(千円)	3,130.00	2,930.00	3,030.00	
活動2	活動名 (活動内容)	広報やホームページ等PR活動	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	PR回数(回)	活動の総事業費(千円)	378	315	252	
			活動にかかるコスト(千円)	378.00	315.00	252.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	助成を受けて行ったコミュニティ活動事業数(回)			目標	4.00	4.00	4.00	4.00
				実績	3.00	2.00	4.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

### 5 成果1、2以外の成果

成果	補助金による設備・備品の整備により、コミュニティ活動の推進を図ることができました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	財団法人自治総合センターの助成事業を活用した事業により、設備・備品の整備にかかる費用に対する市の負担はありません。
成果	町内会にコミュニティ助成事業により整備されたものであるということの自覚を促し、地域住民に対しより積極的に活動参加を推進するようになりました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
一般コミュニティ助成事業補助金の制度を有効的に活用し、多くの住民がコミュニティ活動に参加するようPR活動等を進めます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地域の課題である防災・防犯対策や環境問題等に地域住民が参画するようなコミュニティ活動への支援を図ります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	126	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名		コミュニティ施設整備事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 1 コミュニティ活動 3 コミュニティ施設の充実			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有	補助限度額の増額				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	コミュニティ施設の利用者が			~になる	安全で使いやすい公民館を利用できるようになる
事務事業の内容	コミュニティ活動の拠点である町内公民館の建設や修繕、下水道接続、借地料などに対する補助金を交付します。					
改善・対策の履歴	耐震診断の未実施及び耐震補強を必要とする施設が潜在的にあると思われる中で、町内会にまずは耐震診断を促しましたが、結果0件でした。更にPRに努めています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	49,282	21,235	55,697	43,668	44,142
財源計	47,896	19,849	54,311	41,967	42,441
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	47,896	19,849	54,311	41,967
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,386 (0.22)	1,386 (0.22)	1,386 (0.22)	1,701 (0.27)	1,701 (0.27)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	コミュニティセンター建設補助金の交付	見込	2.00	0.00	2.00	0.00
			実績	1.00	0.00	2.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	18,315	126	26,380	
			活動にかかるコスト(千円)	18,315.00	0.00	13,190.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内公民館の修繕等への補助金の交付	見込	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	43.00	30.00	28.00	
	指標名 (単位)	修繕箇所(箇所)	活動の総事業費(千円)	24,343	16,375	12,819	
			活動にかかるコスト(千円)	566.12	545.83	457.82	
活動3	活動名 (活動内容)	耐震改修費等補助金の交付	見込	1.00	5.00	4.00	4.00
			実績	0.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	0	626	126	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	626.00	126.00	

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	町内公民館建設・修繕補助件数(件)			目標	23.00	25.00	26.00	25.00
				実績	44.00	30.00	30.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	25.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

### 5 成果1、2以外の成果

成果	町内公民館の改修等により、公民館利用の促進及び利用者の利便性が向上しました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	改修・修繕の費用は、改修規模や修繕箇所・内容にもよりますが、単位コストが下がっています。改修・修繕工事の業者選定では、金額により複数業者からの見積もりを取ってもらい、経費の削減に努めています。
成果	改修・修繕工事は、各町内会の計画により年毎に異なるうえ、修繕のなかには、緊急的修繕を要するものもあり、件数の減少が成果に必ずしもつながらない場合もあります。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
地震対策や減災の側面からも、耐震改修や老朽化した建物の改修を促進するとともに、補助金の交付条件について、より利用しやすい内容を検討します。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地域住民が安全・安心して町内公民館を利用できるよう補助制度の内容を精査し、コミュニティ活動を推進します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	135	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名		在住外国人支援事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 2 国際化 1 国際化 1 在住外国人の生活環境整備 1 多言語による情報提供			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成15年度	経過	11年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	外国人住民が		~になる	多言語による生活情報や、行政サービスが受けられる。	
事務事業の内容	外国人住民に対し、市政情報の外国語版の作成、市役所での相談の通訳を行い生活を支援します。					
改善・対策の履歴	生活ガイドブックの外国語版の更新を行いました(中国語H25) ※ 英語H24・タガログ語H23・ポルトガル語H22					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,819	3,883	4,289	3,473	5,064
財源計	39	103	1,076	449	1,095
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	39	103	1,076	449
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	3,213 (0.51)	3,024 (0.48)	3,969 (0.63)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	通訳職員の雇用	見込	600.00	300.00	300.00	300.00
			実績	322.00	413.00	310.00	
	指標名 (単位)	年間の通訳回数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,150	3,150	2,520	
			活動にかかるコスト (千円)	9.78	7.63	8.13	
活動2	活動名 (活動内容)	翻訳委託	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	申請書類等の外国語版翻訳率(%)			目標	70.00	75.00	75.00	80.00
				実績	63.00	63.00	58.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	80.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

### 5 成果1、2以外の成果

成果	窓口の申請書類が翻訳されることで、通訳なしで手続きができるケースが増えました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	職員によるポルトガル語の翻訳及び安城市国際交流協会での英語の翻訳ができたため、外部への翻訳委託料を削減できました。
成果	・外国人への市政情報を提供している生活ガイドブックの多言語化は、4カ国(英語・タガログ語・ポルトガル語・中国語)を作成し、外国人住民への生活支援をしています。各課からの市民に対する案内や通知が日本語のみで、外国人向けへの多言語化が進んでいません。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
各課に申請書類等で、外国人住民の需要が高いものから順に書類の多言語化を進めていくよう依頼し、多言語化を進めていきます。	

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後も継続して申請書類などの翻訳を進めていきます。また、日本の社会で生活していくうえで必要な情報を多言語で提供することに努めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	136	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名		日本語教室開催事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 2 国際化 1 国際化 1 在住外国人の生活環境整備 2 地域社会への参画促進			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有 在住外国人に対する事業の実施要望が市長へのメールとして数件ありました。					
実施方法	一部委託	委託先	ボランティア, その他(大学院生)			
実施期間	開始	平成16年度	経過	10年目	終了	平成25年度 期間 10年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	安城市在住又は在勤外国人及び外国にルーツのある児童が			~になる	日本語を話せるようになる。
事務事業の内容	日本語教室は、生活していくうえで必要な言語の習得を目標に初心者を対象とした教室を開催しています。大人日本語教室は、春と秋に開催し、レベルに応じて3クラスに分けています。子ども日本語教室は、春と夏と冬に開催しています。					
改善・対策の履歴	・学習内容について、既受講者からのアンケート結果を、講師が所属する大学の先生を交えて情報提供しました。(大人教室) ・夏休みの開催会場を、学習者が来やすい会場に変更しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,915	3,906	3,236	2,420	0
財源計	450	441	1,031	593	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	62	91	150	115
	一般財源	388	350	881	478
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	3,465 (0.55)	3,465 (0.55)	2,205 (0.35)	1,827 (0.29)	0 (0.00)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	講師の雇用 (大人教室)	見込	80.00	66.00	66.00	0.00
			実績	66.00	66.00	66.00	
	指標名 (単位)	雇用回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,860	2,850	2,204	
			活動にかかるコスト (千円)	43.33	43.18	33.39	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	日本語教室受講者数(人)			目標	160.00	160.00	160.00	200.00
				実績	62.00	121.00	137.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	200.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	出席率7割以上の受講者の割合(%)			目標	65.00	65.00	65.00	65.00
				実績	48.38	50.00	51.43	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	日本語の学習のみでなく、講師と学習者や学習者同士の交流および情報交換が図ることができました。(大人・子ども教室共通) 大人教室の最終日に学習成果を図るための修了パーティーを行い、交流を深めました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・愛知教育大学の学生・大学院生を講師とし、報酬を小額で済ませるよう努めました。(大人教室) ・ボランティアを募り、教室を開催しました。(子ども教室)
成果	・大学生が講師のため、親しみやすい授業になりました。(大人教室) ・年齢性別問わず、地域の方が講師のため、親しみやすい教室になりました。(子ども教室) ・PR用のチラシを5言語(日本語、ポルトガル語、英語、中国語、タガログ語)作成したため、学習希望者への情報提供が広がりました。(大人教室)

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・途中で脱落者を出さず、出席率を向上させるため、より受講者の希望に沿う内容にするよう努めます。(大人教室) ・潜在的にいる日本語の語学力を必要とする子どもたちが学習に来やすいよう、開催時期・場所・PR等の検討を行います。(子ども教室)

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
縮小・統合	・平成26年度から、大人・子ども教室は「多文化共生社会推進事業」に統合し、うち、子ども教室は、安城市国際交流協会に委託します。

事務事業調査

平成26年度

事業No	139	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名	姉妹都市交流事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 2 国際化 1 国際化 3 国際交流 1 姉妹・友好都市交流			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和57年度	経過	32年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	姉妹都市からの来客		~になる	安城市との交流を通じ、相互理解を深めるようになる。	
事務事業の内容	姉妹都市からの来客への対応及び国内における姉妹都市に関する事業への対応をします。 姉妹都市 ハンチントンビーチ市(アメリカ)昭和57年~ ホブソンズベイ市(オーストラリア)昭和63年~ コリング市(デンマーク)平成21年~					
改善・対策の履歴	アメリカより日米友好100周年のハナミズキの寄贈の話を迅速に手続きをし、東海地方で最初の寄贈団体となりました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,346	2,271	962	567	428
財源計	141	66	332	252	302
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	141	66	332	252
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)	630 (0.10)	315 (0.05)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	姉妹都市からの来安	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	5.00	
	指標名 (単位)	来安回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,397	1,326	253	
			活動にかかるコスト (千円)	698.50	663.00	50.60	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	来安人数(人)			目標	2.00	2.00	2.00	2.00
				実績	0.00	8.00	5.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

### 5 成果1、2以外の成果

成果	アメリカのハンチントンビーチ市との姉妹都市関係からアメリカより日米友好100周年のハナミズキの寄贈があり、公園に植樹し、広く市民にPRできました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	職務分担の見直しにより人件費を抑えることができました。
成果	継続的な姉妹都市との交流により、アメリカより日米友好100周年のハナミズキを寄贈する市として選択してもらえました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
姉妹都市との人的・物的交流が毎年継続されるよう努めます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	国際化の時代において、姉妹都市からの来安者との人的交流等を深め、友好親善を促進していきます。

# 事務事業調書

平成26年度

事業No	138	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名	多文化共生社会推進事業				事業種別	市民サービス	

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 2 国際化 1 国際化 2 国際理解 2 多文化共生社会の推進			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	10-5-65
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体		
実施期間	開始	平成17年度	経過	9年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市内在住の日本人と外国人が		~になる	お互いの文化や習慣を尊重し理解を深めるようになる。
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流イベントや国際理解講座などを開催し、外国人住民の方々を地域住民としてお互いに理解を深め、尊重し合う多文化共生社会の形成を推進します。</li> <li>姉妹都市との学生の交換派遣及び市民などの派遣を通して、友好親善及び相互理解を図ります。</li> </ul>				
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住外国人が増加傾向にある現状を踏まえ、料理などの文化だけでなく、防災など日本の社会で生活していくうえで必要な知識を学ぶことができる講座を実施しました。</li> <li>平成25年度 多文化共生プラン(平成26~30年度)を策定しました。</li> </ul>				

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	21,027	24,878	24,906	20,761	29,704	
財源計	15,168	19,019	21,630	18,052	20,569	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他( )	721	670	212	914	385
	一般財源	14,447	18,349	21,418	17,138	20,184
受益者負担金	41	91	0	115	120	
職員人件費(従事職員数)	5,859 (0.93)	5,859 (0.93)	3,276 (0.52)	2,709 (0.43)	9,135 (1.45)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	国際交流協会による事業の実施	見込	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	20.00	26.00	27.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	18,232	20,713	15,239	
			活動にかかるコスト (千円)	911.60	796.65	564.41	
活動2	活動名 (活動内容)	多文化プラン策定に係る事業の実施	見込	0.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	4.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,308	3,666	5,012	
			活動にかかるコスト (千円)	2,308.00	3,666.00	1,253.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	国際交流イベントや国際理解講座の参加人数(人)			目標	400.00	400.00	400.00	400.00
				実績	515.00	675.00	1,838.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	外国人の参加率(外国人/参加者)(%)			目標	10.00	10.00	10.00	10.00
				実績	3.20	2.50	2.40	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	

### 5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人参加者の一部の方とのコミュニティのパイプができ、情報発信の拡大につながるツールが増えました。</li> </ul>
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流事業や国際理解事業への事業数の拡充により、事業当たりコストが減少しました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のイベントへの参加効果により参加人数が増加したと言えます。</li> <li>外国人参加へのPR方法を更に検討が必要です。</li> </ul>

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを行う際により多くの方に参加してもらうため、告知をHPやチラシ、広報などだけでなく、外国人を雇用している市内企業にも協力を依頼します。</li> <li>定住外国人が増加傾向の現状を踏まえ、引き続き外国人住民を対象に日本で生活していくうえで有益となる内容の講座を検討し開催していきます。</li> </ul>

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	多文化共生社会の実現に向け、今後も外国人住民とより理解を深めていくための一助となる事業を実施していきます。 本事業に日本語教室(大人・子ども教室)(旧:日本語教室開催事業)を統合し、効果的な事業の実施に努めます。

# 事務事業調書

平成26年度

事業No	141	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民活動啓発事業				事業種別	市民サービス	

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 1 市民の参加意識の啓発			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業, NPO			
実施期間	開始	平成17年度	経過	9年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	これから市民活動をしようとしている市民や団体が		~になる	市民活動に参加できるようになる	
事務事業の内容	あんじょう市民活動情報サイトを開設し、各市民活動団体の団体情報、イベント情報、ボランティア募集情報を公開し、情報発信を行います。					
改善・対策の履歴	平成19年度：ホームページの内容を一部修正しました。 平成25年度：情報サイトの登録団体の増加を図り、1団体あたりのコストを削減することができました。					

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,281	1,281	1,281	1,281	1,440
財源計	1,155	1,155	1,155	1,155	1,188
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	1,155	1,155	1,155	1,155
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	252 (0.04)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	システム使用契約	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	一式(式)	活動の総事業費 (千円)	1,218	1,218	1,218	
			活動にかかるコスト (千円)	1,218.00	1,218.00	1,218.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	あんじょう市民活動情報サイト登録団体数(団体)		目標	359.00	365.00	360.00	320.00
			実績	360.00	334.00	354.00	
		目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	320.00	達成状況	達成
成果2	あんじょう市民活動情報サイトアクセス数(回)		目標	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
			実績	13,018.00	12,330.00	10,535.00	
		目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	情報サイトを通してイベントやボランティアへの参加申込みがありました。
----	------------------------------------

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		システム業者への委託料に増減がなく、人工も必要最低限であるためコストの削減はできませんでした。
成果		交流センターの登録団体への窓口での説明によって、情報サイトの登録団体数を増やすことができました。しかしながら、情報サイトのアクセス数を伸ばすことはできませんでした。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	情報サイトの利用者増加を図り、利用者あたりのコストの削減を図ります。また、利用者の声を聞きより使用しやすい情報サイトになるように働きかけます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ICT情報は必須の時代であり、情報サイトの存在は不可欠です。今後も情報サイトをより多くの方が登録し、活用できるようにしていきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	145	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画グループ人材育成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 1 方針決定の場における女性の参画促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策	6-1-4-1-2, 6-1-4-1-3, 6-1-4-2-2	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成14年度	経過	12年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	エンパワーメント講座等の受講者が		~になる	方針・施策決定の場に参画できるよう な力をつけるようになる	
事務事業の内容	女性が社会において広く活躍し、市政への参加や審議会等への女性登用が進むよう、女性の資質向上を目指した講座を開催し、人材の育成を行います。					
改善・対策の履歴	平成21年度：講座の名称を「ステップアップ講座」から「さんかく21カレッジ」に変更しました。また、対象者を「さんかく21・安城」の会員まで広げました。実践講座を市民グループと協働で開催しました。 平成25年度：「エンパワメント講座」等の内容を企画段階から「さんかく21・安城」と協議・調整のうえ策定しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	2,337	2,329	3,243	3,042	2,424	
財源計	195	187	408	207	408	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他( )	8	0	9	0	9
	一般財源	187	187	399	207	399
受益者負担金	8	0	9	10	9	
職員人件費 (従事職員数)	2,142 (0.34)	2,142 (0.34)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,016 (0.32)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	エンパワメント講座開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,405	1,405	1,418	
			活動にかかるコスト (千円)	1,405.00	1,405.00	1,418.00	
活動2	活動名 (活動内容)	さんかく21カレッジ開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	658	630	664	
			活動にかかるコスト (千円)	658.00	630.00	664.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	エンパワメント講座受講者数(人)			目標	20.00	20.00	20.00	20.00
				実績	17.00	20.00	20.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成
成果2	さんかく21カレッジ受講者数(人)			目標	20.00	20.00	20.00	20.00
				実績	28.00	44.00	42.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	市民グループと協働して開催し、多様なニーズに対応した講座を開催しました。講座修了者が事後活動グループに入会しています。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	市民グループの会員や市の職員を講師とすることで、報償費(講師謝礼)の削減を図りました。
成果	エンパワメント講座受講者が、従来は既に何らかの活動団体に所属していた市民が主流であったのが、広報などを見て男女共同参画に興味を持って受講する一般の市民の方が増えてきました。講座内容については、時勢にあった内容を取り上げることができました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
参加者等へ講座内容等のアンケートを実施し、アンケート結果を検証して新たな企画への参考にしていきます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	平成14年度から人材育成事業を「さんかく21・安城」とも協働しながら実施していますが、男女共同参画を担う人材の育成には継続性が重要と考えます。したがって、受講修了者が参画していくことができる仕組みも含めて引き続き実施していきます。

# 事務事業調査

平成26年度

事業No	146	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画グループ活動事業				事業種別	市民サービス	

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 2 地域生活・地域社会における促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成11年度	経過	15年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	男女共同参画社会を実現するための市民グループが			~になる	研修などの学習機会を得ることで、より自主的活動を推進できる
事務事業の内容	さんかく21・安城が開催する総会などの実施を支援します。また、県などが開催している男女共同参画に関する研修会や講座などへ市民を派遣します。					
改善・対策の履歴	平成20年度：日本女性会議への参加者1名を市民公募としました。					

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,738	2,579	2,535	2,468	1,207
財源計	218	185	330	263	136
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	218	185	330	263
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,520 (0.40)	2,394 (0.38)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	総会の実施	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	総会の開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	641	630	441	
			活動にかかるコスト (千円)	641.00	630.00	441.00	
活動2	活動名 (活動内容)	市民派遣の実施	見込	3.00	3.00	3.00	0.00
			実績	2.00	2.00	3.00	
	指標名 (単位)	市民の派遣回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,152	1,129	1,174	
			活動にかかるコスト (千円)	576.00	564.50	391.33	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	総会の参加者数(人)		目標	80.00	80.00	80.00	80.00
			実績	78.00	64.00	78.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成
成果2	市民の参加に関する研修等への派遣人数(人)		目標	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	3.00	2.00	4.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	男女共同参画グループが自主的な活動をする上でのスキルアップが図られました。また、最新の情報や技術など、多くの情報をグループ構成員に還元することができました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	さんかく21・安城における総会等の準備については、団体が自立的に作業を実施したことから職員の人工を減少させることができました。	
成果	総会については、目標値には及びませんでしたが、前年よりも多くの方に参加いただきました。また、派遣人数についても予算枠内で目標どおり派遣することができました。	

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
総会参加者を増加させるため、総会終了後に団体間の情報共有の場としての交流会をさらに周知します。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画を担うグループのリーダーとなる人材を育成していくためには、一人でも多くの方に研修等を機会を得ていただくことが重要であり、引き続き継続していきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	147	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画月間・週間事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 2 地域生活・地域社会における促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策	6-1-4-1-2	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成14年度	経過	12年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	イベント参加者が		~になる	男女共同参画についての理解を深めるようになる	
事務事業の内容	男女共同参画月間(10月)・週間(6/23~6/29)事業にあわせて啓発イベントを実施します。					
改善・対策の履歴	平成25年度：第3次男女共同参画プランを見直し、その内容を広く市民に周知する必要性がありましたので、男女共同参画週間イベントの中で講演のテーマとして開催しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,064	3,453	4,442	4,219	2,993
財源計	473	618	662	439	662
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	2	0	2	0
	一般財源	471	618	660	439
受益者負担金	2	0	2	0	2
職員人件費 (従事職員数)	3,591 (0.57)	2,835 (0.45)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	2,331 (0.37)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	男女共同参画フォーラム(月間事業)の実施	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	2,321	2,075	1,622	
			活動にかかるコスト(千円)	2,321.00	2,075.00	1,622.00	
活動2	活動名 (活動内容)	男女共同参画フォーラム(週間事業)の実施	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,292	1,340	1,305	
			活動にかかるコスト(千円)	1,292.00	1,340.00	1,305.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	男女共同参画フォーラム(月間事業)参加者数(人)		目標	400.00	1,000.00	400.00	400.00
			実績	349.00	931.00	393.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成
成果2	男女共同参画フォーラム(週間事業)参加者数(人)		目標	80.00	80.00	80.00	80.00
			実績	76.00	93.00	62.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	月間イベントについて、参加者アンケートの結果から前段の映画と後段のトークともに半数以上の方が「良かった」との回答を得ました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		イベントの企画・運営を市民グループと協働して行い、委託費等経費の削減を図ることができました。
成果		平成24年度については、市制60周年記念事業として人権擁護委員及び国際交流協会との協働で実施し、著名人(アグネスチャン)を招聘し講演を実施したことで例年よりも多くの参加者を得ることができましたが、平成25年度は例年の事業内容であったため前年よりも参加者は減少しました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	アンケートの結果により改善を進め、多くの人が参加できるように検討するとともに、市民グループとの協働を進め、人件費の抑制に努めます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画を推進することの必要性について、多くの市民に認識してもらうための事業が必要であり、これからも継続して実施していきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	148	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画啓発事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 1 方針決定の場における女性の参画促進				予算科目(会計)	一般会計
					予算科目(款・項・目)	10-5-65
					総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン
					関連する総合計画の施策	6-1-4-2-2, 6-1-4-2-3, 6-1-4-3-1
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法、安城市男女共同参画推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成17年度	経過	9年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	男女共同参画に関心の低い人が			~になる	男女共同参画に関する情報を得るようになる
事務事業の内容	男女共同参画に取り組む市民グループのPRや男女共同参画普及啓発等のための情報誌発行やパンフレットの作成を行います。					
改善・対策の履歴	平成19年度：DV（ドメスティックバイオレンス※）パンフレットを市民グループと協働で作成し、配布しました。 平成23年度：DVミニパンフレットを作成し、公共施設などで配布しました。 平成25年度：DVミニパンフレットを増刷、男女参画パンフレットを刷新し、配布しました。女性に対する暴力をなくす運動期間（H25.11.12～25）に合わせて、広報への特集記事掲載や女性トイレへのチラシ掲示を行いました。 ※ドメスティックバイオレンスとは、夫婦間などにおける身体的、精神的、性的、経済的な暴力等のことです。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,017	1,606	1,660	1,755	1,841
財源計	135	157	211	306	266
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	135	157	211	306
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	882 (0.14)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,575 (0.25)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	情報誌の発行	見込	2.00	2.00	2.00	1.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	発行回数(回)	活動の総事業費(千円)	846	1,363	1,038	
			活動にかかるコスト(千円)	423.00	681.50	519.00	
活動2	活動名 (活動内容)	啓発パンフレット作成	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	作成回数(回)	活動の総事業費(千円)	171	243	717	
			活動にかかるコスト(千円)	171.00	243.00	717.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	情報誌発行部数(部)		目標	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
			実績	4,000.00	5,000.00	4,000.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	パンフレット作成部数(部)		目標	1,000.00	1,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	4,500.00	3,000.00	4,700.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	男女共同参画グループの活動やDVに関する情報など広くPRすることができました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		パンフレット、情報誌ともに市民グループ等が最初の企画段階から参加協働し、取材・文章構成や原稿作成などでもできる限り印刷に出す前に作り上げたので、人件費や印刷製本費の削減を図ることができました。
成果		情報誌については、目標どおり2,000部を2回に分けて作成し、4,000部を配布することができました。また、男女共同参画とDVのパンフレットについては当初の見込みより1,700部ほど多く作成・配布し広くPRすることができました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
紙面編集や職員の人件費などコスト削減できる部分は検討しつつ内容を充実したチラシを作成していきます。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画やDVに関する啓発を継続的に行うことで、少しずつ市民の参画意識の醸成に寄与していきます。

# 事務事業調査

平成26年度

事業No	151	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画プラン策定事業				事業種別	市民サービス	

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法、安城市男女共同参画推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H18.6議会(平成19年度中に男女共同参画推進条例の制定を目標とする)				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成16年度	経過	10年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	男女共同参画社会を認識し、主体的に取り組むようになる	
事務事業の内容	男女共同参画審議会を開催し、プランの進捗管理や提言をいただきながら、市民、企業、学校、行政が一体となってプランを推進します。					
改善・対策の履歴	平成20年度：プラン中間改定のため、男性と女性の生きかたに関する意識調査を実施しました。 平成21年度：プラン中間改定を行い、重点項目の変更を行いました。 平成23年度：第3次プラン策定に向けた男女共同参画に関するアンケートを実施しました。 平成24年度：第3次男女共同参画プラン(平成25年度～29年度)を策定しました。 平成25年度：会議の回数を必要数(2回)とし会議経費を縮減しました。					

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,480	8,088	3,791	3,404	2,531
財源計	267	2,985	578	191	578
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	267	2,985	578	191
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,213 (0.51)	5,103 (0.81)	3,213 (0.51)	3,213 (0.51)	1,953 (0.31)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	懇話会（審議会）の開催	見込	4.00	5.00	3.00	2.00
			実績	3.00	5.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,157	2,813	2,045	
			活動にかかるコスト (千円)	719.00	562.60	1,022.50	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	審議会等への女性の参画割合(%)			目標	31.00	31.00	31.00	32.00
				実績	25.60	26.60	28.80	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	32.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	男女共同参画に関する苦情件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	第3次安城市男女共同参画プラン進捗のための審議会については、当初3回を予定していましたが、必要数を2回実施し会議費用を縮減しました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	第3次安城市男女共同参画プラン進捗のための審議会については、当初3回の開催を予定していましたが、2回開催とし会議費用を縮減しました。
成果	審議会等への女性の参画割合は、各課へのヒアリング等を実施したことから28.8%となり、前年よりも2.2ポイント上昇しました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
安城市男女共同参画プランの進捗管理については、極力会議資料等にパワーポイントを活用し、分かりやすく、効率的な会議運営を行います。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画社会の実現に寄与するため、審議会及び庁内組織において、男女共同参画に関する諸問題を積極的に審議しプランの進捗を図っていきます。

# 事務事業調書

平成26年度

事業No	825	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	長谷部朋也
						決裁者	野本久恵
事務事業名	国内交流事業				事業種別	市民サービス	

## 1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 2 市民の活動参加の促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H18年5月に加賀市・砺波市と災害時相互応援協定の締結を契機に、市民団体等の交流を推進するため				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成20年度	経過	6年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民団体などが		~になる	国内交流都市との交流を通して相互の理解を深める。	
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体等が国内交流都市（災害時相互応援協定締結市）である富山県砺波市、石川県加賀市、千葉県香取市、長野県飯田市、岐阜県多治見市、静岡県掛川市、愛知県半田市及び新城市と交流する際の交通費等に対し、補助金を支給することで交流を支援します。</li> <li>・東日本大震災に見舞われた、岩手、宮城、福島県の復興支援をする際の交通費等に対し、補助金を支給することで交流を支援します。</li> </ul>					
改善・対策の履歴	平成25年4月からの事業に対応できるよう、岩手、宮城、福島県の団体との交流事業に対する補助については、前年度中に応募・審査・決定する方法に変更し、実施しました。					

## 2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	1,452	4,971	6,453	4,180	6,516	
財源計	318	4,089	5,571	3,235	5,571	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0	0
	一般財源	318	4,089	5,571	3,235	5,571
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,134 (0.18)	882 (0.14)	882 (0.14)	945 (0.15)	945 (0.15)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	国内交流事業補助金	見込	3.00	5.00	5.00	10.00
			実績	4.00	7.00	6.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,436	819	653	
			活動にかかるコスト(千円)	359.00	117.00	108.83	
活動2	活動名 (活動内容)	東日本大震災復興支援事業補助金	見込	0.00	10.00	10.00	5.00
			実績	0.00	8.00	6.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	0	4,054	3,476	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	506.75	579.33	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	申込団体数(申込団体数)			目標	3.00	16.00	15.00	15.00
				実績	4.00	20.00	12.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

### 5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体がお互いのまちづくりの方法やそれに取り組む姿勢などを交流から学びました。</li> <li>・実施団体の報告から、被災地からは、本事業による交流により元気づけられているとの声をもらっています。</li> </ul>
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・交流事業の規模や行き先などにより、補助金額が異なります。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・添付書類や適宜ヒアリングなどを通して適切か否かの判断ができました。</li> <li>・広報等を通して広く市民団体へPRし、申請を受け付けました。</li> </ul>

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・国内交流事業補助金を東日本大震災復興支援事業補助金と同様に、年度当初に事業を行う団体に円滑に対応できるよう改善します。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後も市民団体等が国内都市と教育、文化、産業、経済などの交流を通じて相互理解を深めるよう事業を継続し、広報等でPRに努めます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	938	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民参加・市民活動推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 2 市民の活動参加の促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	自治基本条例、市民参加条例、市民協働推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成21年度	経過	5年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	市政に参加しやすくなる	
事務事業の内容	自治基本条例の理念に基づいて、市民参加条例（H23.4.1施行）、市民協働推進条例（H24.10.1施行）を策定し、市民が主役となる自治を実現するために、市民参加と協働によるまちづくりを進めています。					
改善・対策の履歴	市民参加条例を周知するために、全職員に研修を行いました。 市民公募3人を含む市民参加推進評価会議を開催しました。 市民公募3人を含む市民協働推進会議を開催しました。 平成25年度：市民活動補助金交付団体の活動報告会を相互連携、情報共有の場として「わくわく交流会」としての位置づけで実施しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	15,536	8,002	21,565	18,828	20,433	
財源計	8,165	2,458	9,406	6,669	9,345	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他( )	0	0	0	0	1,000
	一般財源	8,165	2,458	9,406	6,669	8,345
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	7,371 (1.17)	5,544 (0.88)	12,159 (1.93)	12,159 (1.93)	11,088 (1.76)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	市民協働推進会議の開催	見込	5.00	4.00	6.00	4.00
			実績	5.00	3.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	2,951	2,370	2,511	
			活動にかかるコスト(千円)	590.20	790.00	627.75	
活動2	活動名 (活動内容)	スタートアップ事業	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	1(式)	活動の総事業費(千円)	5,014	4,267	6,249	
			活動にかかるコスト(千円)	5,014.00	4,267.00	6,249.00	
活動3	活動名 (活動内容)	ふれあい補償制度の運用	見込	0.00	0.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	式(式)	活動の総事業費(千円)	0	0	5,115	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	5,115.00	

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	市民参加条例・協働の指針に関するフォーラム(講演会等)への参加者数(人)			目標	30.00	30.00	30.00	50.00
				実績	81.00	80.00	65.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

### 5 成果1、2以外の成果

成果	平成25年3月に策定した市民協働推進計画に基づき、スタートアッププログラムとして位置づけている「協働のまちづくり人材養成講座」、「市民活動補助金」などを実施することができました。
----	---

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	市民協働推進計画の初年度であり市民活動補助金制度等が運用されたこと、また、「ふれあい補償制度」が財政課から事務移管されたことにより大幅な事業費の増額がありました。
成果	わくわく交流会については、指定管理者の自主事業として実施していたものを、市民活動補助金交付団体の活動報告会も兼ねて行うこととしたことから、参加者数が伸びなかったと考えられます。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市民活動補助金については、追加募集を行うなど一層の補助金活用を促すとともに、市民活動団体が継続して活用しやすくなるように制度を見直します。また、審議会等については、パワーポイント等を活用して説明することで、分かりやすく、効率的な会議運営を行います。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民が市政の様々な場面に参加できるよう継続して取組んでいきます。 市民協働推進計画に基づき、市民参加と協働によるまちづくりを推進します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	985	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民交流センター管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 3 活動環境の整備			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策	6-1-2-2-3	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	安城市民交流センター設置及び管理に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	NPO			
実施期間	開始	平成22年度	経過	4年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民活動を行う市民が		~になる	施設を利用できるようになる	
事務事業の内容	世代を超えた市民相互の交流促進及び市民活動の活性化を図ることを目的とした施設である安城市民交流センターを管理運営するための事業を実施しています。					
改善・対策の履歴	平成22年度：指定管理者制度を導入しました。 平成25年度：指定管理者の切り替えにより、直営で行っていた各種点検業務についても指定管理料に参入し、経費の節減に努めました。また、利用料金制を導入することで、指定管理者のノウハウを生かした運営を行うことができました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	38,313	37,485	34,262	34,162	58,129
財源計	33,525	32,823	29,600	29,500	54,097
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他( )	3,542	0	0	0
	一般財源	29,983	32,823	29,600	29,500
受益者負担金	3,542	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,788 (0.76)	4,662 (0.74)	4,662 (0.74)	4,662 (0.74)	4,032 (0.64)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

### 3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	管理に関する委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	一式(式)	活動の総事業費(千円)	37,746	36,918	33,595	
			活動にかかるコスト(千円)	37,746.00	36,918.00	33,595.00	
活動2	活動名 (活動内容)	交流センターの運営委員会開催回数	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	567	567	567	
			活動にかかるコスト(千円)	141.75	141.75	141.75	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

### 4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	市民活動団体登録数(団体)			目標	315.00	320.00	320.00	320.00
				実績	360.00	334.00	354.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	344.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	施設利用者数(安城市民交流センター)(人)			目標	44,000.00	45,000.00	45,000.00	46,096.00
				実績	44,246.00	43,091.00	44,839.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成

### 5 成果1、2以外の成果

成果	7月17日から1か月間実施した施設利用者満足度アンケートにおいて、約6割の方から「利用したい」との回答を得ました。中には「スタッフの対応が素晴らしい」、「設備が十分」等の意見がありました。
----	--

### 6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成25年度から指定管理者の切り替えがあり、直営で保守点検等の委託を実施していたものを指定管理料に含めたことから経費の軽減につながりました。
成果	指定管理者切り替えの初年度ではあるものの、前年度よりも1,748人増加しました。しかし、指定管理者が掲げる目標値には及びませんでした。市民活動団体の登録数については、354団体(H26.4.1)であり、昨年度から20団体増加しました。

### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
指定管理者が切り替わって2年目となるため、自主事業等をさらに充実させ利用者の拡大が図れるように働きかけします。

### 8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民活動団体等は、行政との協働のパートナーとして活躍が期待されています。その団体の活動を支援をする市民交流センターの担う役割は重要であり、充実した支援を継続して実施していきます。